



東光小学校だより

平成30年11月1日

No. 7

忠別川

校内研究 秋季研授業「特別の教科 道徳」

校内研究（秋季研修）の授業が10月から始まりました。今年度から、研究主題を「豊かな心をもち、よりよく生きる子どもの育成～考え、議論する道徳科の実践を通して～」とし、「特別の教科 道徳」を窓口として、全校体制で取り組んでいます。

さらに、子どもたちの姿勢、発表の仕方、授業の基本的な進め方、ノート指導、板書の工夫等について、全教科等の授業の基本として全学級で統一して取り組んでいます。各教科等での学びを基礎とし、「特別の教科 道徳」の進め方や研究内容との関わりについて各学年部会で練り合い、プレ授業研、全校研と全ての学級で授業公開を行い、研修を深めています。

夏季研より研修の成果があらわれステップアップした子どもたちの姿が、随所で見られています。最後のまとめの授業は、11月30日（金）に2年2組、5年1組が行う予定となっております。子ども

たちが議論し合いながら考えが深まっていく授業を目指し、さらに研究を深めていきます。



1年4組 道徳「なんていえばいいのかな」

時と場に合った言葉遣いについて考える授業でした。絵から場面の様子を知り、吹き出しに入る言葉を考えていきました。お互いの気持ちを感じ取るために、その人になって演技し、考えた台詞を伝え合いました。



3年3組 道徳「足りない気持ちは何だろう」

相手の気持ちを考えて行動することについて考える授業でした。様々な場面の絵を基に、自分の考えを伝え合いながら、自分だったらどうするのか、これからどのように行動するかについて考えました。



4年4組 道徳「新次のしょうぎ」

正直に生活することについて考える授業でした。将棋で不正をしてしまったこと、その後どう行動するかについて、自分の考えを伝え合いながら深めていきました。



6年4組 道徳「ロレンゾの友達」

本当の友達について考える授業でした。20年ぶりに会う友達が罪を犯してしまったかもしれないと聞いた友達の言動を基に、相手の気持ちを意識しながら考えを深め合っていました。